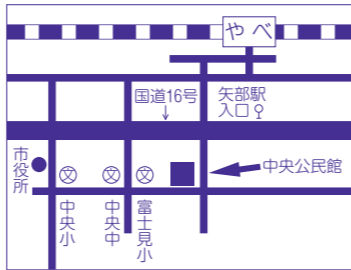
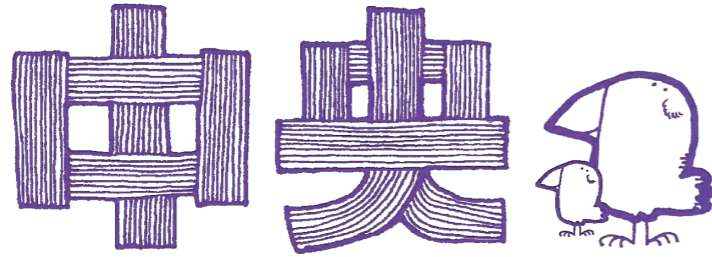


# 館報 240号



中央公民館ホームページは ⇒ [相模原市 中央公民館](#)

発行 中央公民館 〒252-0236 相模原市中央区富士見2-13-1 ☎042-758-9000 令和8年 3月31日  
中央公民館区の人口：35,435人(302人減)・19,706世帯(75世帯増) 2月1日現在( )内は前年同月との増減



参加者募集!  
昨年は雨天中止となった「春のハイキング」を令和8年4月19日(日)に開催します。  
山手や中華街など、横浜の名所を巡る約7kmのハイキングです。体育部の皆さんと一緒に楽しみましょう。  
(編集委員 藤野)



港の見える丘公園 バラ越しのベイブリッジ ©横浜市観光協会

日時：令和8年4月19日(日) (雨天中止)  
集合：午前9時 JR矢部駅北口  
行程：JR矢部駅(乗車)→JR山手駅(下車)→根岸森林公園→山手公園(昼食)→港の見える丘公園  
→横浜中華街→横浜公園→JR関内駅(乗車)→JR矢部駅(午後4時頃帰着予定)【ハイキングは約7km】  
定員：30名(中央公民館区の小学生以上、申込順) ※小中学生は保護者同伴  
持ち物：お弁当、タオル、飲み物、シート、雨具、保険証類、スイカ・パスモなどの交通系ICカード  
※履きなれた靴と服装でご参加ください。  
費用：交通費 大人1,340円 ※スイカ・パスモ等へ事前にチャージをお願いします  
受付期間：3月14日(土)～4月11日(土)  
※窓口または、QRコードのいずれかよりお申し込みください  
窓口受付：(午前9時～午後5時) 中央公民館窓口かお電話にて  
※月曜日及び祝日の翌日、正午から午後1時を除く  
QRコード受付：(24時間対応) 右記の申し込みQRコードにて



申込QRコード

主催・申込み・問合せ：中央公民館 ☎042-758-9000

## 令和7年度 相模原市公民館連絡協議会表彰

永年、公民館活動に関わり御尽力いただいた方々に贈られます。中央公民館からは2名受賞されました。

体育部員：小林 完子さん  
青少年部員：半田 明善さん

## 鬼はそと! 福はうち! 節分を楽しもう!

「みんなで文化を知ろう実行委員会」による「鬼はそと!福はうち!節分を楽しもう!」が2月1日(日)中央公民館大会議室で行われました。  
「節分」の行事は平安時代に中国から伝わったといわれていて、鬼は病気、災害、貧困などをさします。  
赤、青、緑、黄色の画用紙で思い思いの鬼のお面を作り、鬼にふんした子どもたちは豆を袋いっぱいひろいました。(編集委員 川成)



毎年西門通りの桜がほころび始めると「春だなあ」と思う。困るのは満開になると皆、花に見とれて車の渋滞が激しくなることだ。  
もう一つ楽しみにしているのが近所の神社の桜だ。ここの境内にはいろいろな種類の桜が植えられているが、見応えがある。

おわりのちはれ  
るのが裏参道から見ると重桜だ。他の桜が散った後に見ごろを迎える。ピンの花びらが何枚も重なる大きな花は本場にきれいで、カメラに収めている人の姿もよく見かける。そして八重桜が散ってしまうと「春も終わリだな」と思う。  
(キウイ)

## 図書室からのお知らせ

2025  
追悼特集

昨年亡くなった作家の方とその作品を図書室の蔵書からご紹介します

もりなが たくろう 享年67歳(1/28)  
**森永 卓郎**

『相続地獄 残った家族が困らない終活入門』光文社

独特の分析や評論で多くの著書を残し、タレントとしても活躍した経済アナリスト。自身が体験した相続のごたごたを通して、具体的に役立つ情報を満載した「相続の教科書」。

その あやこ 享年93歳(2/28)  
**曾野 綾子**

『観月観世 或る世紀末の物語』集英社

70年にわたる作家生活、クリスチャンで、政治や社会への独自の目線からの主張も有名。25年をかけて書かれた“死を想え(メメント・モリ)”がテーマの連作集「満月に酔う物語」。

あき (6/14) 享年91歳  
**ジェームス三木**

『深い女は美しい 歴史に学ぶ女の生き方』杉本苑子/共著 致知出版社

歌手として活動後、転向。「滞つくし」『独眼竜政宗』の脚本家として一世を風靡した。歴史を動かした女性たちの凛とした生き様を歴史小説家と語り合う「歴史の宝箱」。

にしざわ やすひこ 享年64歳(11/9)  
**西澤 保彦**

『腕貴探偵』シリーズ 実業之日本社

超能力などのSFの設定を導入した本格推理小説が人気。シリーズ作品も多い。神出鬼没な市役所職員がさりりと謎を解明していく、奇妙で笑える「謎の公務員探偵ミステリー」。

あらしやま こうざぶろう 享年83歳(11/14)  
**嵐山 光三郎**

『ざぶん 文士放湯記』講談社

“笑っていいとも増刊号編集長”としても親しまれた作家。エッセイも多数。古き良き時代、温泉で遊ぶ近代作家たちの交流エピソードが満載の「おもしろ温泉小説」。

うちだて まきこ 享年77歳(12/17)  
**内館 牧子**

『迷惑な終活』講談社

幅広い作風で、ドラマ脚本や小説を多く残し、女性初の横綱審議委員も務めた。終活とは自分で人生にケリをつけること。高齢者の共感を集める大人気の「老後小説」。

えびな かよこ 享年92歳(12/24)  
**海老名 香葉子**

『うしろの正面だあれ』金の星社

落語家初代林家三平亡き後、一門をまとめてきた“おかみさん”。平和の尊さを訴え続けた。戦争孤児の体験を基に、戦争の悲惨さや家族の愛情が描かれた「語り継ぎたい記憶」。

【図書室(蔵書点検)のお知らせ】  
4月12日(日)～18日(土)

4月9日(木)は第2木曜日ですが開室します

11日(土)までの貸出は返却期限が3週間に延長されます。

ご不便をおかけしますがよろしくおねがいたします。

(図書室職員一同より)

貸出中の本は、図書室ホームページや図書室内の検索機で予約ができます。カウンターでも承ります。

### ～公民館と図書室のお休み～

4月					5月					6月					7月				
日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木	日	月	火	水	木
			1	2					1	1	2	3	4	5				1	2
5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	28	29	30			26	27	28	29	30

○ 休館日    ■ 図書室休み